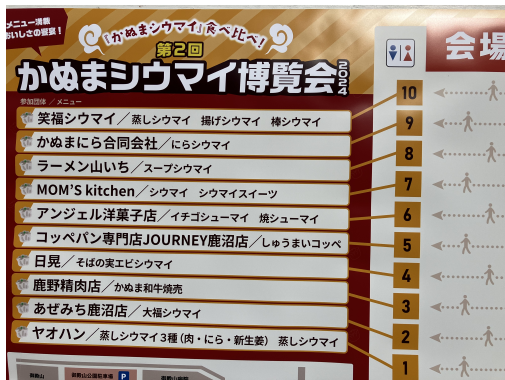


社会保険労務士からの三方一両得だより

令和6年12月20日 第183号

かめまシウマイ博覧会

鹿沼市役所前で開かれた、第2回かめまシウマイ博覧会に行ってきました。「シューマイ」ではなく「シウマイ」です。おそらく「シウマイ弁当」の崎陽軒創業者の出身地であることにちなんだ町興し企画だからなのだと思います。良い天気だったこともあって、イベント開始前から結構な数のお客さんが来ていました。市内にシウマイを出す店が50軒以上あるそうですが、当日のイベント出店は10店舗のみ。スペースの関係なのでしょうがちょっと寂しいです。ちなみに今年の



10店舗の出店です。

上三川在住の私からすれば、鹿沼といえばニラ蕎麦、いちご、シウマイと思い浮かびますが、東京の人にとってはどこまで浸透しているのでしょうか。宇都宮のカクテルやジャズもあまり認知されていないようですので、PRがまだまだ必要なのでしょう。商工会議所が中心になってイベントをしているようですので、何か面白いことをやってもらうことを期待しています。

宇都宮ぎょうざ祭りは27店舗だったそうで、城址公園のあの広さで、よくこれだけ出せたなと感心します。

我が家は行列が嫌いなので、回転が早いところだけを狙って3店舗のシウマイを購入しました。蒸したてですから熱々で、どれも美味しかったです。ただ、どれも私にとっては味付けが少し濃くて、白米なしでシウマイだけ食べていると少し厳しいと感じました。



開始時刻ちょうどでも既に大行列。



外見は良くないです。

虫食いがひどくて心配していたキャベツと白菜ですが、全くの杞憂でした。少し外側の葉を除けば、中は綺麗な状態でした。品種選びが良かったようで、白菜は肉厚でいながらも柔らかく、おいしいものも収穫できました。茎ブロッコリーも少量ながら収穫が続いています。あとはカブとホウレンソウが大きくなれば収穫となります。来春に向けて土を深く耕すことも始めました。一月まではこの作業を繰り返します。

我が家の畑

1月 20 日から、希望する退職者のマイナポータルに離職票を直接送付するサービスが始まります

離職票とは、雇用保険の被保険者が退職後に求職者給付（いわゆる失業保険）を受給するために必要な書類です。離職票は現在会社から退職者に郵送していただいていたのですが、2025年1月20日からは希望する退職者のマイナポータルに直接送付するサービスが始まります。退職者がハローワークで転職活動をするには、会社から離職票が届くまで1週間から10日ほど待つ必要がありましたが、新サービスを使えばその期間が短縮されます。会社が離職票を送る手間も省けます。



◆離職票が送付されるまでの流れ

2025年1月20日から一定の条件を満たした場合は、会社が（社会保険労務士事務所が）資格喪失届と離職証明書をハローワークに電子申請すると、ハローワークは離職証明書の事業主控を事業所に電子

送付し、離職票を離職者のマイナポータルに直接送付します。

◆離職票のマイナポータル直接送付のために会社がやるべきこと

- (1) 被保険者の方に被保険者向けリーフレットを使って周知しましょう。このサービスが被保険者の任意であることに留意する必要があります。
- (2) 被保険者本人のマイナポータルで、マイナンバーがハローワークに登録されているか確認してもらいます。登録されていない場合は、会社が「個人番号登録・変更届」をハローワークに提出し、マイナンバーを登録してください。
- (3) 被保険者のマイナンバー登録が済んでいる場合は、被保険者本人にマイナポータル上で「雇用保険 WEB サービス」との連携設定を行ってもらいます。(2)(3)は資格喪失届提出の2週間前までに行ってください。
- (4) 雇用保険の離職手続を電子申請で行ってください。電子申請ではなく紙様式でハローワークに届け出た場合は、離職票は従来どおり会社経由となります。